

「ツール・ド・東北 2022」、2022年9月17日（土）、18日（日）に開催予定

ヤフー株式会社
株式会社河北新報社

～ 3年ぶりのリアルイベント開催を目指す ～

ヤフー株式会社と株式会社河北新報社は、東日本大震災の復興支援および震災の記憶を未来に残していくことを目的とした自転車イベント「ツール・ド・東北 2022」を2022年9月17日（土）、18日（日）に開催する予定です。昨年の「ツール・ド・東北 2021 特別大会」におきましては、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の感染状況を踏まえ、実際にコースを走行するリアルイベントは中止とし、オンラインのバーチャルライドのみの開催となりました。今大会においても、新型コロナ対策を講じた上で規模を縮小し、コースは2フォンド、参加者は約1,500名を予定しています。（2019年大会実績：コース6フォンド、参加者3,973名）開催にあたっては、昨年同様、新型コロナの感染状況などを見極めながら共催自治体と協議し、決定次第、公式サイト・SNSにて速やかにお知らせします。

2013年より毎年開催していた「ツール・ド・東北」は、一昨年の「ツール・ド・東北 2020」を新型コロナの影響で中止とし、昨年の「ツール・ド・東北 2021 特別大会」はオンラインのみの開催となりました。9回目を数える今回は、石巻市をスタート/ゴール地点とする「北上フォンド」（100km）、「女川・雄勝フォンド」（65km）の2コースのみで実施するほか、昨年に引き続き、今年も「バーチャルライドイベント」を開催予定です。詳細は5月中旬に予定しているプレスリリースでお知らせします。

また、スタート/ゴール会場を第1回からメインの舞台としていた石巻専修大学から、近隣のセイホクパーク石巻（石巻市総合運動公園）に変更します。大会会場では、ライダー以外の方々にも楽しんでいただけるよう、イベントやブースを用意する予定です。

※新型コロナの感染状況によっては変更・中止となる場合がございます。

※エイドステーション（休憩所）は設置予定です。

<大会キャッチコピーについて>

「ツール・ド・東北」では、被災地を元気づけたいと参加したライダーたちが、沿道からの地元の方々の声援で逆に元気をもらったというエピソードから、「応援してたら、応援されてた」のキャッチコピーが生まれました。今大会のキャッチコピーは「応援してたら、応援されてた～笑顔で再会しよう～」とし、3年ぶりに東北の地で地元のみなさまと笑顔で再会し、大会を盛り上げていきたいと考えています。

「ツール・ド・東北」はこれからも、自転車を通して被災地の現状や、復興への道のりをお伝えしながら、さらに東北の魅力を感じていただけるイベントを目指していきます。

< 「ツール・ド・東北 2022」概要 >

■開催日程：2022年9月17日（土）、18日（日）

※実際にコースを走るライドイベントは9月18日（日）のみとなります。9月17日（土）は会場にて各種イベントを開催します。

■メイン会場：セイホクパーク石巻（石巻市総合運動公園）

■エントリー方式：抽選方式（応“縁”ライダーを除く）

■コース：石巻発100km「北上フォンド」、石巻発65km「女川・雄勝フォンド」

■エントリー期間：

応“縁”ライダー：4月20日（水）～5月11日（水）

一般&ペア&親子ライダー：5月10日（火）～5月31日（火）

※エントリーの詳細は、4月20日（水）に公式サイト・SNSにてお知らせします。

< 「ツール・ド・東北」開催の目的 >

東日本大震災の復興支援、および震災の記憶を未来に残していく。

・公式サイト

「ツール・ド・東北」公式サイト：<https://tourdetohoku.yahoo.co.jp/>

・公式SNS

「ツール・ド・東北」公式Facebook：<https://www.facebook.com/tourdetohoku>

「ツール・ド・東北」公式Twitter：<https://twitter.com/tourdetohoku>